

③実際に質問を入力

「ChatGPTにメッセージを送信する」と書いてあるBOXに質問したい内容を入力し、送信ボタンを押すと回答結果が出力されます。

生成AIを使った具体的な活用方法

以降は、ChatGPTを中心に生成AI使ったビジネス場面の具体的な活用例をご紹介します。

より精度の高い回答を得るための4つのポイント

①指示は明確に

求めている回答が返ってくるのは、多くの場合指示が明確ではないからです。前提情報、参考情報、例（お手本）は積極的に提供するとともに、条件（例：〇〇文字以内で、ビジネス文として相応しい形で）、出力方法（例：箇条書き、表、先生と生徒の対話形式で）も明確に記載しましょう。
※企業での活用にあたっては参考情報として自社の経営方針・理念なども入れると自社の方向性に合った回答が得られる可能性が高くなります。

②AIの役割を明示する

AIがどのように振舞ったらよいか明示することも重要です。例えば、文章の校正であれば、入力内容の冒頭に「あなたはプロの校正者（翻訳者、編集者、コンサルタント・・・等）です」などとAIの役割を明確にすると良いでしょう。

③#（ハッシュタグ記号）を活用

AIが区別しやすいように、各項目に#を用いて区切りましょう。（例：#命令文 #条件 #入力文 #出力文）

④逆質問をさせる

「より良い回答を提供するために追加で必要な情報があれば私に質問してください。」と付け加えることで、不足する情報があればAIが逆質問してくれます。

生成AIの活用する際に注意すべきこと

生成AIサービスは上手く活用すれば非常に有効ですが、生成AIの限界や注意しなければいけない点を十分に理解する必要があります。

①出力された情報の正確性に注意

生成AIは、インターネットなどの大量のデータを学習し、その中に潜在するパターンや規則性を抽出し、入力された情報に対して最も確からしいコンテンツを生成します。ただし、生成された情報は正確性・信頼性が保証されていないわけではなく、「正しい可能性が高い」内容です。

②個人情報・機密情報は入力しない

ChatGPTでは、入力された情報がOpenAI社のモデルの学習に使用される可能性があると考えられています。したがって、秘匿性の高い情報を入力した場合、その情報がデータベース上に保存され、生成AIのサービスを提供している企業など第三者に情報が

漏えいする恐れもあります。氏名・連絡先・住所など個人情報に関わる情報や、企業の財務情報、顧客情報などの機密情報は入力しないでください。

③生成AIの利用規約の遵守

生成AIサービスを利用する際は、サービスプロバイダの利用規約を理解・遵守しましょう。特に商用利用や著作権の制約には留意してください。

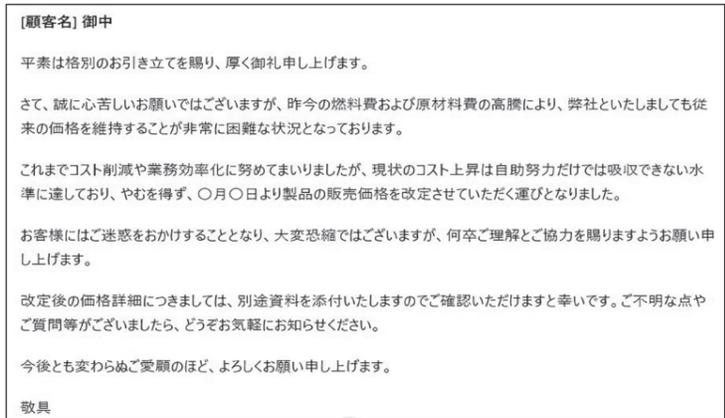
例えばChatGPTを利用する場合、金融・医療・法律分野のコンテンツやニュース生成・要約など消費者向けにコンテンツを作成し提供する場合は、AIが使用されていることや潜在的な限界を知らせる免責事項をユーザーに提供する必要がありますと明記されています。

④生成物が権利侵害になる可能性に注意

単に生成AIに他人の著作物（第三者が著作権を有しているデータ、商標や意匠として登録されているロゴ・デザイン等）を入力するだけの行為は、権利侵害のリスクは高くありません。一方、生

【社外文書の作成（業務効率化）】

以下の社外向け文書を作成してください。
#内容
・顧客に対し、販売価格改定をお願いをする
・昨今の燃料費・原材料費の高騰による影響
#条件
・日本のビジネス文書（ビジネスレター）としてふさわしい体裁・文体で作成



ハンドメイド雑貨を中心とした小売店を開業したいので、語感がよく覚えやすいお店の名前とロゴを作成してください



ChatGPT上でDALL-E（画像生成AI）を使って生成された画像

お店の名前として「HandiLuxe」を提案しました。こちらは「Handi」（手作り）と「Luxe」（ラグジュアリー、豪華）を組み合わせた名前、手作りの魅力と特別感を表現しています。語感がよく覚えやすく、ハンドメイド雑貨のコンセプトにぴったりです。
また、ロゴも作成しました。柔らかなパステルカラー（ピンク、ライトブルー、ラベンダー）を使い、親しみやすく、温かみのあるデザインに仕上げています。ロゴには、糸やビーズ、クラフトツールなどの要素が取り入れられ、クリエイティブで遊び心のある雰囲気を演出しています。
お店の開業に向けて、このロゴが気に入っていただければ幸いです！

【ロゴ・店名の考案（売上向上）】

▼社内利用ガイドラインの策定
生成AIを全社的に活用するためには、上記の注意すべき点を経営者・従業員全員が理解したうえで使用することが重要であり、組織としての生成AIに対する考え方や注意事項を示す「社内利用ガイドライン」を策定し、社内でも共有することをおすすめします。（一社）日本ディープリング協会がガイドラインのひな形を策定し、無料で公開しています。

当所でセミナーを開催します

10月18日（金）・11月6日（水）に「生成AIの活用セミナー」を実施します。こちらのセミナーでは、実際にスマートフォンやPC等で操作しながら実践的に学ぶことができます。ぜひご参加ください！

QR codes and text for the seminar: (一社)日本ディープリング協会「生成AIの利用ガイドライン集」 加古川商工会議所「生成AIのビジネス活用セミナー」募集ページ